①	**宮浦　昭太郎**　　76 歳　電気 4 講座　吉田教授、河村先生
②	明電舎から誘いを貰いましたが、家業の宮浦製作所（ガス溶接器具製作）入社
③	溶接の技術がガスから電気に移行し始め入社数年後にガス溶接器が不要に、日本電装の依頼で自動ロー付機を開発、クーラーメーカー各社に納入した。業績確保のため副業のつもりで金属プレス加工業を開業したが、嵌まりこんでしまい、本業に戻れなかった。
④	㈱宮浦製作所　機械部を棄てて、宮浦工業株式会社を設立したこと。
⑤	４０代後半のころ、高校時代の恩師に「人の 3 倍の人生を送るんだね。」と言われたことがある。今　振り返ると名言だった。仕事のこと、家族・親族のこと、趣味･技能・遊びのこと、喜怒哀楽・波乱万丈の時を過ごしたと思う。その分、妻に苦労をかけたことだろう。
⑥	昨年 4 月から長男家族が戻って来て同居、賑やかな毎日ではあるが大変だ。家内と二人で詩吟教室を開いている。家内はヨガ、私は太極拳とグランドゴルフを週一回。
⑦	人生の最終章に突入したようだ。家内と二人の余生を考えたり、仕事のことを含めて身辺整理を考えたりするようになった。家内と二人で旅することを心がけていきたい。
⑧	

①	**森田　徹**　７５歳　第６講座　守口信雄先生　六島先生　研究テーマ：アイソレータの技術文献調査
②	三洋電機入社　大阪府大東市住道　精器工場技術部開発課（電子部品事業部）勤務 （勤務地は異なるが、田中博君と２名入社）
③	技術部に配属してオールトランジスタートランシーバーの開発、ディスクターレット式 TV チューナーの開発、モーショナルスピーカーシステム（電気回路からスピーカーの駆動部まで含めて負帰還をかけて忠実度の向上を図る）開発等を５年間、偏向ヨーク（ブラウン管の電子走査を精度良く偏向させる）の開発、設計と量産設計及び品質管理を定年直前まで。不勉強であった磁気学の応用なので苦労しました。当時の偏向に関する文献は余りなく唯一 NHK 総技研の文献の「ブラウン管における電磁偏向の実用解析」を参考に日夜没頭して仕事一本でやってきました。現在は映像表示装置の大革命が起こり、ブラウン管から液晶化で偏向ヨーク完全不要となった。
④	人生の大きな転機として大きく感じるところがないのですが、あえてゆうなら一人前になる為の条件である結婚して一家を引き連れた生活責任が始まったことです。
⑤	定年後の初年度の一年間は仕事から解放された気持ちもあって、全国をドライブ旅行していましたが、 やはり何か一日の内、数十%位は緊張感を持つ時間がないと虚無感を感じたので２年目から縁もあって関係会社に現役時代の経験を生かした偏向ヨークの生産管理と設計顧問の仕事(３日勤務/週)を業界の液晶の進出で不要となるまで６年間務めた。続いて現役時代の開発設計、量産設計の経験を生かして欲しいとゆう中企業からの要請があって研究開発室に入って３日/週の勤務で７年間務め、７５歳になる直前で今後の体調を考え今が退け時と感じ、完全リタイヤーした。
⑥	完全リタイヤーしたばかりであるが、NHK 文化講座の中から郷土歴史実地講座、社会見学、古建築の受講とゴルフを適当にしている。
⑦	今後は地元で郷土ボランティアー活動をしていきたいと思っている。
⑧	現在は就職難時代だが、何事も基礎学力を身につけ、現役時代に種々経験する中で広く物作りの知識を培っていく努力をしていれば、定年退職後の再就職のニーズは有るものだと知る。異分野でも IT 利用で可成り知識を得ることが可能で基礎知識があれば有る程度理解できる時代である。